と き 令和4年7月27日

ところ 国保連合会10階A会議室

第148回

通常総会

議事録

第148回通常総会結果報告

- 1 開催日時 令和4年7月27日(水)
開会 午後1時56分
閉会 午後2時58分
- 2 開催会場 本会 10階A会議室
- 3 議事録署名人 議長 武井雅昭氏(港区長)
会員 斉藤猛氏(江戸川区長)
会員 大坪冬彦氏(日野市長)
会員 中村章氏(東京美容国民健康保険組合理事長)

- 4 出席者
会員定数84人

出席	会員代表者	5人
	代理人	45人
	書面	8人
計(ア)		58人
欠席保険者		26人
合計(イ)		84人
出席率(ア)/(イ)×100		69.0%

(令和4年7月27日)

開 会（午後 1 時56分～）

○事務局 定刻前ではございますが、皆様おそろいでございますので、ただいまから第14
8回通常総会を開催いたします。

はじめに、本日までご出席の会員数をご報告申し上げます。書面によるご参加を含めまして、
58保険者のご出席をいただいております。国民健康保険法施行令第26条を準用いたします
同施行令第13条第1項の規定による定足数を満たしておりますことをご報告申し上げます。

それでは、次第に従いまして、理事長からご挨拶を申し上げます。よろしくお願いいたします
します。

理事長挨拶

○理事長 皆様方には、ご多用にもかかわらず、本総会にご出席を賜りまして誠にありが
とうございます。また、日頃から本会の事業運営に対しましてご理解とご協力を賜りまし
て、改めて御礼を申し上げます。

本日は、感染拡大防止対策を講じた上で開催しておりますので、ご理解を賜りますよう
にお願いを申し上げます。

本日、ご審議をいただきます主な事項は、令和3年度の事業報告及び決算等ございま
すが、ここで本会をめぐる情勢につきまして、少し触れさせていただきます。

昨年6月に成立いたしました全世代対応型の社会保障制度を構築するための健康保険法
等の一部を改正する法律におきましては、後期高齢者医療におけます窓口負担割合の見直
しや、保健事業における健康情報等の活用促進などが盛り込まれておりまして、本会を取
り巻く環境は大きく変化をしているところでございます。

オンライン確認等のシステムにつきましては、令和5年3月までにおおむね全ての医療
機関、薬局での導入に向けて、厚労省ではプロジェクトチームを設置し、導入が加速化す
るよう取り組んでいくこととしております。

次に、昨年度の本会の事業といたしましてご紹介いたしますと、新型コロナの対策事業
として、関係団体の負担軽減の観点から、ワクチン接種費用の請求支払事務の一部や障害
福祉サービス事業所等に対する感染防止対策の支援事業に係る支払事務に取り組んだとこ
ろであります。

ワクチン接種費用の請求支払事務につきましては、追加接種も開始されておりまして、本会といたしましても、引き続き保険者をはじめ関係団体との連携を密にしながら、しっかりと取り組んでまいりたいと思っております。

また、第3次経営計画につきましては、初年度となる第3期実施計画の目標達成に向け、鋭意取り組んだところでございます。

このほか、各種事業につきましては、後ほど事務局から説明を申し上げますが、本日の総会での提出案件につきまして、十分にご審議をいただきますよう重ねてお願いを申し上げます。

なお、本日、追加議案として、学識経験者である理事の選任についてを議題として上程してございます。私であります、今月1日付で地方独立行政法人都立病院機構の理事長に就任いたしまして、急遽ではございますが、8月末日をもちまして本会の理事長を退任させていただくことになりました。それに伴うものでございます。

簡単ではございますが、総会をはじめめるに当たっての挨拶といたします。本日はどうぞよろしくお願い申し上げます。

○事務局 ありがとうございます。

議長、副議長選任

○事務局 続きまして、議長、副議長の選任でございます。時間の関係もございまして、大変僭越とは存じますが、事務局からご指名をさせていただきたいと存じますが、いかがでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

ありがとうございます。

それでは、ご指名をさせていただきます。

議長には、港区長・武井雅昭様、副議長には、東京食品販売国民健康保険組合理事長・鵜飼良平様、以上のお二方をお願い申し上げます。

それでは、武井議長にご挨拶をいたしまして、引き続き議事進行につきましても、どうぞよろしくお願い申し上げます。

○議長（武井副理事長） 一言ご挨拶を申し上げます。

ただいま私どもは、皆様から賛同を賜りまして、本総会の正副議長を務めさせていただ

くこととなりました。これから議事に入るわけですが、議事進行に当たりましては皆様のご協力をお願い申し上げます、簡単ではございますが、ご挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

議事録署名人指名

○議長 では、次第に従いまして、議事を進めてまいりたいと存じます。

はじめに、本総会の議事録署名人を指名させていただきます。

本総会の議事録署名人には、江戸川区長・斉藤猛様、日野市長・大坪冬彦様、東京美容国民健康保険組合理事長・中村章様、以上の3名の方をお願い申し上げます。よろしくお願いいたします。

議案審議

○議長 それでは、早速、議事に入りたいと存じます。

恐れ入りますが、お手元の議案書2-1の目次をお開きいただきたいと思います。ご覧のとおり、報告事項は、監事の監査について外3件、議決事項は、令和3年度事業報告についてから理事の選任についてまでの14件と追加議案の1件、合わせて15件の議案についてご審議をいただくわけでございます。

それでは、議案書によりまして、報告事項から議事を進めてまいります。

はじめに、報告事項の1「監事の監査について」を上程いたします。

それでは、常勤監事からご報告をお願いいたします。

○常勤監事 それでは、私から監事監査についてご報告いたします。恐れ入りますが、議案書の2-1の3ページをご覧くださいと存じます。

令和3年度における財産目録を含む事業報告並びに一般会計、外各会計決算につきまして、令和4年7月7日に監査を行ったところ、財務に関する事務の執行及び経営に関わる事業の管理は、法令・規則に従って適正に管理執行されていることを認めましたので、ここにご報告申し上げます。

以上でございます。

○議長 ありがとうございます。ただいまの報告につきましてのご質疑は、後ほどご審

議いただきます。令和3年度事業報告及び各会計決算の際に併せてお願いいたします。

次に、報告事項の2「理事の専決処分について」を上程いたします。事務局から報告をお願いします。

○事務局 議案書1ページをお願いいたします。報告事項2「理事の専決処分について」でございます。おめくりいただきまして、5ページをお願いいたします。

国民健康保険法第86条において準用する同法第25条第2項の規定により、令和4年3月18日に理事の専決処分とさせていただきますので、ご報告申し上げます。

処分案件については、議案書の7ページから11ページにかけて載せておりますが、これらの内容を集約いたしましたものを資料1として配布してございます。こちらの資料で説明いたしますので、よろしくをお願いいたします。

それでは、資料1をお願いいたします。予算補正の内容は、補正の趣旨と併せて説明申し上げます。補正の趣旨は、介護職員処遇改善支援事業及び福祉・介護職員処遇改善支援事業の業務の一部を東京都から受託し実施するため、一般会計の予算を補正したものです。

本件は、令和3年11月19日、閣議決定されたコロナ克服・新時代開拓のための経済対策に基づき、介護職員や障害福祉職員を対象に賃上げ効果が継続される取組を行うことを前提として、収入を約3%、月額にして9,000円程度引き上げるための措置として、令和4年2月から必要な経費について都道府県から事業所等に対し、補助金を交付する事業となります。

下の表をご覧ください。予算補正額をまとめたものでございます。補正額は、事業所等への補助金と本会事務経費を含め、介護、障害分の合計として、右端の合計欄135億69万円となります。

以上で専決処分の報告を終わります。

○議長 事務局の報告が終わりました。ご質疑、ご意見がございましたらお願いいたします。

(「なし」の声あり)

ご質疑、ご意見がないようですので、ご了承いただきたいと思います。

次に、報告事項の3「第3次経営計画について」を上程いたします。事務局から報告をお願いします。

○常務理事 報告事項3「第3次経営計画について」です。お手元の資料2、第3次経営計画令和3年度実績報告及び別紙総括概要をお願いいたします。

第3次経営計画における第3期実施計画の初年度に当たる令和3年度の執行状況については、第三者の立場から客観的に評価していただくために設置しております経営評価委員会を去る7月6日に開催し、評価や助言をいただいたところです。それらの内容をお手元の第3次経営計画令和3年度実績報告及び総括概要にまとめましたので、後ほどご覧いただければと存じます。

なお、今年度におきましても、各計画の目標達成に向け取り組んでおります。

以上、簡単ではございますが、報告を終わります。

○議長 事務局の報告が終わりました。ご質疑、ご意見ございましたらお願いいたします。よろしいでしょうか。

(「なし」の声あり)

ご質疑、ご意見がないようですので、ご了承いただきたいと思います。

次に、報告事項の4「東京ほけんサポートセンターの状況について」を上程いたします。事務局から報告を願います。

○常務理事 報告事項4「一般社団法人東京ほけんサポートセンターの状況について」です。

東京ほけんサポートセンターについては、多様化する保険者、広域連合等、関係団体のニーズを見据え、必要とされます事務事業を効率的に実施しつつ、組織の肥大化を避ける観点から平成20年3月に設立いたしました。

保険者の皆様に設立の報告を行った際に、今後、運営状況や決算については、本会の機関会議に報告することとしております。

それでは、お手元の資料3-1をお願いいたします。令和3年度の事業報告です。

項番1、法人の運営については、社員総会を2回、理事会を5回、監事監査を2回開催いたしました。また、毎月出納検査を実施しております。

次に、項番2、レセプト点検事業ですが、(1)後期高齢者医療分については、資格点検で年間約105億円、内容点検で約12億円を医療機関との間で過誤調整いたしました。

(2)国保分の内容点検では、年間約5億円を医療機関との間で過誤調整いたしました。

次に、項番3、特定健診の電子化事業以降については、保険者様や都内の地区医師会などから受託し、項番4の妊婦乳児健康診査申請書に係る事業と項番5の風しん対策受診票等に係る事業につきましても、ご覧のとおりそれぞれの処理を実施いたしました。

続きまして、資料3-2をお願いいたします。こちらは、去る5月26日開催のサポート

センターの第21回社員総会議案の抜粋です。こちらにより決算状況を説明申し上げます。

初めに、左側の令和3年度末の貸借対照表です。資産の部、資産合計4億2,363万3,433円、負債の部、負債合計2,385万8,389円、純資産の部、純資産合計で3億9,977万5,044円となり、借方、貸方のそれぞれの合計は4億2,363万3,433円となっております。

続きまして、中ほどの損益計算書です。まず売上高ですが、特定健診の電子化手数料、点検業務受託料等の合計で売上総利益金額は5億8,541万9,536円となります。

次に、販売費及び一般管理費は、人件費、経費の合計で5億6,231万51円となり、差引き2,310万9,485円の営業利益金額に営業外収益、公課費を加減算いたしました当期純利益金額は、最下段ですが、1,996万3,771円となっております。

右側の純資産変動計算書につきましては、後ほどご覧願います。

以上で説明を終わります。

○議長 事務局の報告が終わりました。ご質疑、ご意見がございましたらお願いいたします。よろしいでしょうか。

(「なし」の声あり)

ご質疑、ご意見がないようですので、ご了承いただきたいと思えます。

それでは、議決事項に移らせていただきます。第1号議案「令和3年度事業報告について」から、第11号議案「令和3年度退職金特別会計歳入歳出決算について」まででございますが、これらは事業報告と各会計決算でございまして、それぞれ関連がございますので、一括して議題に供します。事務局から説明を願います。

○常務理事 議案書2-1、薄いほうですが、少しめくっていただきまして、13ページをお願いいたします。第1号議案「令和3年度本会事業報告について」から、次のページ、第11号議案「令和3年度本会退職金特別会計歳入歳出決算」につきましては、別冊2-2のとおり認定されたい。

それでは、別冊2-2、厚いほうの議案書をめくっていただきまして、1ページをお願いいたします。限られた時間でございますので、概略の説明となりますが、よろしく願い申し上げます。

令和3年度本会事業報告です。Ⅰ、運営報告ですが、冒頭の理事長の挨拶と重複いたしますので、後ほどご確認いただき、2ページのⅡ、事業報告です。

第1、総会及び役員会の開催では、1の総会は3回書面で開催し、2、役員会の(1)理事会等のア、理事会を4回のうち3回を書面で開催し、また、3ページ、イの事業計画及

び予算に関する委員会を1回開催、(2)の監事監査が2回実施されました。

第2、国保制度の改善と財政強化のための活動では、国及び東京都などに対し要請を行いました。

4ページをお願いいたします。第3、「国保事業充実強化推進運動」の支援では、1の保険料(税)収納率向上対策事業以下、5ページにかけまして、2の医療費適正化に関する講習会等を一部を除き開催いたしました。

第4、保険者等との連絡、調整では、1の各種連絡協議会への参加等のほか、次の6ページの最下段、(5)国保講演会までについて、新型コロナウイルス感染症の影響により、一部中止したものもありますが、ホームページを活用して動画配信するなど、工夫して実施いたしました。

次に、7ページをお願いいたします。第5、保健事業では、1の保険者等が行う保健事業への支援から、少しめくっていただきまして、10ページの6、東京都在宅保健師の会の運営まで、記載のとおり各種講演会の開催や情報提供などを行いました。

次に、11ページをお願いいたします。第6、特定健康診査・特定保健指導等に関する事業では、1のデータ管理及び費用決済に係る事務から、12ページの3、法定報告情報の作成までを実施いたしました。

第7、調査事業では、1の各種資料の作成、提供のほか、次の13ページ、2に記載の東京都国保ハンドブックを発行いたしました。

第8、広報活動では、1の機関誌「東京の国保」の発行をはじめ、次の14ページの最下段、7、「国保実務」「国保新聞」の配布まで、各事業を実施いたしました。

15ページをお願いいたします。第9、医療保険に関する事業の1、診療報酬等審査支払事業では、保険者、広域連合から国保、後期高齢者医療の審査支払に係る業務を受託し、適正、迅速な事務処理に努めるとともに、電子レセプト請求に適切に対応するため、国保中央会と連携し、システムの安定運用を図りました。

なお、審査基準の統一化に向け、審査委員会において、統一項目の周知を図りました。

(1)の審査委員会の運営では、医科部会、歯科部会合わせまして250人の審査委員により原則、毎月18日から24日までの会期で開催いたしました。

この審査付議件数は、国保は月平均の合計で約434万件、前年度比106.2%、次の16ページの後期高齢者医療は月平均の合計で約426万件、前年度比104.3%でございます。

以下、18ページ中段まで診療報酬等に係る審査関係数値でございます。後ほどご覧願

ます。

(2)の審査の充実・強化では、審査を効率的、効果的に進めるため、ICTの活用と審査事務共助の一層の強化を図りました。アの審査・審査事務共助の充実及び強化では、審査基準の統一化に向けた取組を推進するとともに、全国統一のコンピュータチェック項目(共通設定)を着実に取り入れ、効率的な事務処理に努めました。

イの職員研修の充実では、研修会の実施により専門知識の向上に努めました。

以下、22ページまで審査関係数値でございます。後ほどご覧願います。

次に、23ページをお願いいたします。項番2、療養費等審査事務では、(1)柔道整復療養費及びあん摩マッサージ指圧、はり・きゅう療養費審査委員会を毎月1回開催いたしました。

以下、24ページの上段まで審査関係数値でございます。後ほどご覧願います。

上段の3、保険者レセプト管理事務については、国保、後期の受託状況はご覧のとおりとなっております。

次に、第10、国保保険者からの事務受託の1、共同電算処理事業は、アからコまでの事務を実施いたしました。

2、オンライン資格確認等システムによる電子資格確認等事務は、保険者から電子資格確認等事務を受託し、国保中央会と連携して、オンライン資格確認等システムで管理する資格情報に基づき令和3年10月からレセプトの振替、分割処理及びマイナポータルを活用した医療費情報、薬剤情報等の閲覧を可能とするため、同システムと国保総合システム等との連携を行いました。

続きまして、25ページの3、第三者行為に起因する損害賠償請求収納事務から、27ページの項番10の海外療養費調査事務等まで、それぞれ実施いたしました。

第11、国保保険者標準事務処理システムの運用管理の1、国保事業費納付金等算定標準システムの運用管理、次の28ページの2の国保情報集約システムの運用管理では、東京都や区市町村からシステムの運用管理業務を受託するとともに、関連資料等を提供するなど、管理業務を的確に実施いたしました。

第12、東京都後期高齢者医療広域連合からの事務受託では、1の広域連合電算処理システムの運用及び基盤管理から、30ページの項番9、後発医薬品利用差額通知データ作成事務まで、それぞれ記載の事務を受託し、実施いたしました。

続きまして、第13、介護保険に関する事業の1の介護給付費等審査支払事業等では、適

正、円滑な審査支払業務を行いました。

次の31ページの(1)介護給付費等審査委員会の運営では、毎月1回開催のほか、介護医療部会、審査部会を会期外に各1回開催いたしました。審査委員は18人、審査付議件数は月平均約148万件、前年度比105.0%となっております。

(2)介護給付費等の支払から、32ページにかけまして、審査支払関連の数値を掲載しております。後ほどご覧願います。

次に、33ページをお願いいたします。(3)介護給付適正化対策事業では、保険者に対し、本会が保有する給付実績情報等を活用したアからエに記載の取組を支援いたしました。

(4)要介護認定等情報経由業務では、本会の給付費明細書情報と保険者の要介護認定情報を中央会経由にて、厚労省へ報告いたしました。

2、保険者事務共同処理事業では、(1)共同電算処理事業から、次の34ページ、(3)第三者行為(交通事故)に起因する損害賠償請求収納事務まで、保険者が行う事務のうち共同して処理することが効率的な事務を受託し実施いたしました。

3、苦情処理業務の(1)事業者が行う介護サービスに関する調査、指導及び助言では、弁護士や医師等で構成する苦情処理委員会に教示を求め、事業者への指導、助言を行いました。

次の35ページの(2)苦情処理に係る介護保険者及び東京都への支援業務では、アからウまでを実施いたしました。

36ページをお願いいたします。4、介護保険事業の円滑な運営に資する業務では、(1)「介護サービスの苦情相談白書」の作成及びホームページへの掲載から、(5)の第三者行為損害賠償求償事務講習会(介護保険)の開催までを実施いたしましたが、開催につきましては、Web等で行いました。

続きまして、37ページをお願いいたします。第14、障害者総合支援給付等に関する事業を円滑に実施いたしました。

次は、少しめくっていただきまして、41ページをお願いいたします。第17、風しん追加的対策に係る抗体検査費用等の請求支払事務は、厚労省からの協力依頼により実施し、第18、新型コロナウイルス感染症への対応に関する事業は、1のワクチン接種費用請求支払事務などを行いました。取扱状況はご覧のとおりでございます。

次に、42ページをお願いいたします。最下段の第20、ISO/IEC 27001認証の維持・継続に向け取り組みました。

以上で事業報告の説明を終わります。

引き続きまして、各会計決算を説明申し上げます。

○事務局 令和3年度の決算につきましては、議案書2―1の13ページ、14ページの議決事項、第2号議案から第11号議案といたしまして、別冊2―2、厚いほうの議案書の43ページから535ページに各会計別の決算数値を記載しておりますが、説明につきましては本日机上に配布してございます資料4、令和3年度東京都国民健康保険団体連合会各会計・勘定別決算概要によりご説明申し上げます。

それでは、概要の1ページをお願いいたします。ここから2ページにかけて各会計・勘定別決算状況一覧表を載せております。まず、表の見方ですが、中央が歳入、その右が歳出、右端が決算残額です。各会計の合計は2ページをお願いいたします。

こちらの最下段、合計欄の左から2列目、歳入の収入済額は3兆5,706億2,055万8,776円、予算現額に対する収入率は91.4%です。右の歳出の支出済額は3兆5,684億261万3,207円、執行率は91.3%です。

なお、収入済額に対する決算残額は0.062%です。

3ページと4ページは積立金の状況、5ページ以降は各会計勘定の決算状況となっております。

以降、1ページから4ページでご説明いたします。恐れ入りますが、1ページにお戻り願います。歳入、歳出、決算残額の順でご説明いたします。

一般会計の歳入の収入済額は6億6,908万3,420円、予算現額に対する収入率は85.1%です。一般会計の主な収入は、負担金、繰入金、繰越金です。続いて、右の歳出の支出済額は4億9,903万3,626円、執行率は63.4%です。主な支出は、職員人件費や事務所維持管理費、広報宣伝費、保健事業費等です。

令和3年度は、各特別会計業務勘定の各種手数料等の軽減財源とするため、財政安定積立金の一部処分や、各業務勘定繰入金を予算計上いたしましたが、所要額のみ繰り入れたことにより、収入済額、支出済額ともに減少しております。歳入歳出差引残額1億7,004万9,794円は、決算残額として令和4年度へ繰り越します。

以降、各会計も同様に右端の決算残額を繰り越します。

続きまして、診療報酬等審査支払特別会計業務勘定です。収入済額は135億62万6,041円、収入率は92.3%です。主な収入は、国保、公費負担医療の審査支払手数料、共同電算基本処理手数料、審査支払事務に対する東京都補助金、繰入金及び繰越金です。収入済額の減

少の要因は、外付けシステム改修経費として計上しました減価償却引当資産繰入金が増減したこと及び保険者間調整療養費等受入金が予算額に対して減少したことによるものです。支出済額は129億113万3,712円、執行率は88.2%です。主な支出は、職員人件費や事務所維持管理費、電算委託管理費、積立資産への積立金等で各会計の業務勘定も同様となりますので、以降の説明は割愛いたします。

次に、その下の4つの支払勘定は、保険者等から医療機関等へ本会を經由して診療報酬等を支払うものです。

4つ目の抗体検査等費用につきましては、風しん抗体検査等費用において国保中央会資料の都道府県別取扱件数を基に予算計上いたしましたが、実績が大きく下回る結果となりました。

なお、支払勘定の収入済額と支出済額はほぼ見合いとなっておりますので、後ほどご確認をお願いいたします。

このほかの支払勘定も同様ですので、以降の説明は割愛いたします。

次は、後期高齢者医療事業関係業務特別会計業務勘定です。収入済額は73億7,758万355円、収入率は94.1%です。主な収入は、審査支払手数料や東京都後期高齢者医療広域連合からの事務委託金、繰入金、繰越金等です。支出済額は67億1,447万8,725円、執行率は85.6%です。

その下の2つの支払勘定で公費負担医療に関する診療報酬支払勘定の収入率66.1%は、令和2年度に新型コロナウイルス感染症の検査費用、医療に要する費用の保険適用に伴い予算計上いたしましたが、実績が下回る結果となりました。

次は、特定健康診査・特定保健指導等事業関係業務特別会計業務勘定です。収入済額は8億4,997万2,559円、収入率は130.3%です。主な収入は、特定健診・特定保健指導負担金や特定健診手数料、繰入金、繰越金等で、繰越金の実績額が見込額より大きくなったことにより収入率が多くなっております。支出済額は4億7,978万9,042円、執行率は73.5%です。

次は、第三者行為損害賠償求償事務共同処理事業特別会計です。収入済額は14億5,525万5,886円、収入率は47.7%です。主な収入は、損保会社等からの損害賠償金受入金で、予算計上した金額より受託案件の実績が下回る結果となりました。支出済額は14億5,504万3,891円、執行率は47.7%です。主な支出は、保険者等への損害賠償金支出金です。

2ページをお願いいたします。柔道整復施術料等支払代行業務特別会計です。収入済額

は216億9,804万5,638円、収入率は70.2%です。主な収入は、保険者等からの療養費等受入金、繰入金です。支出済額は216億9,755万9,101円、執行率は70.2%です。主な支出は、柔道整復施術所等への療養費等支出金です。

次は、介護保険事業関係業務特別会計業務勘定です。収入済額は17億3,496万8,756円、収入率は98.3%です。主な収入は、審査支払手数料などの手数料や苦情処理支援事業に対する東京都補助金、繰越金です。支出済額は15億1,432万8,683円、執行率は85.8%です。

次は、障害者総合支援法関係業務等特別会計業務勘定です。収入済額の3億4,427万3,558円は主に給付費等審査支払手数料で、収入率は98.2%。支出済額は3億4,054万4,117円、執行率は86.8%です。

次は、措置費支払代行業務特別会計業務勘定です。収入済額の4,286万8,066円は主に措置費支払代行手数料で、収入率は103.3%です。令和3年度より東京都から新たに受託しました日常生活支援住居施設への支払代行分の取扱件数が見込件数より大きくなったことにより収入率が多くなっております。支出済額は3,245万7,424円、執行率は78.2%です。

次は、退職金特別会計です。収入済額の5億9,233万7,680円は主に退職給付引当資産からの繰入金で、収入率は74.6%、支出済額は5億9,233万5,879円、主な支出は、定年等退職者19名分の退職手当金と退職給付引当資産積立金で、執行率は74.6%です。

3ページをお願いいたします。こちらのページと4ページの表で積立金についてご説明いたします。

まず、左側の区分欄を御覧いただきまして、項番1の退職給付引当資産、項番3、財政調整基金積立資産、項番4、減価償却引当資産、次ページの項番5、電算処理システム導入作業経費積立資産については平成26年度から、項番6のICT等を活用した審査支払業務等の高度化・効率化のための積立資産は令和元年度から、それぞれ国の通知により国保連合会が保有できる5つの資産です。

項番2の財政安定積立金については、将来の不測の事態に備えて、引き続き保有が認められた積立金です。

4ページをお願いいたします。合計欄の令和4年3月31日現在の残高は154億5,419万8,507円となっております。各積立金の残高は後ほどお読み取り願います。

以上、資料4をもちまして議決事項2から11までの単式の決算概要の説明は終わりますが、ただいまご説明申し上げました資料の次の資料5、令和3年度東京都国民健康保険団体連合会各会計別収支計算書概要ですが、本会では、単式簿記の経理事務をしております

が、国の通知により公益法人会計準則にのっとり、単式簿記の会計処理の情報を複式簿記に当てはめまして財務諸表等を作成したものになります。財務諸表の貸借対照表についてご説明申し上げます。12ページをお願いいたします。

左から2列目、令和4年3月31日現在で一般会計や各特別会計をまとめた総合計ですが、Ⅰ、資産の部といたしまして、現金預金などの流動資産、固定資産といたしまして、退職給付引当資産をはじめとした各積立資産の特定資産及びソフトウェアなどその他固定資産を含めました資産合計は2,942億4,305万1,198円です。

次に、Ⅱ、負債の部といたしましては、リース債務などの流動負債と固定負債の退職給付引当金の負債合計は2,791億3,416万1,010円です。

次に、正味財産の合計金額は151億889万188円で、負債及び正味財産合計は、先ほどご説明いたしました資産合計と同額の2,942億4,305万1,198円になります。内容の説明は省略いたしますが、決算の参考資料として後ほどご覧願います。

続きまして、次の資料6、令和3年度東京都国民健康保険団体連合会財務諸表（実費精算）決算概要についてですが、私ども国保連合会の経理事務につきましては、保険者から委託を受けて行う事務に係る手数料は、実費に見合う額として算定し、かつ年度末に剰余が生じた場合は、その額を翌年度において徴収する手数料の額から控除するものとされており、こちらの資料6をもって令和3年度実費精算の有無についてご説明いたします。

表紙をおめくりいただきまして、1ページ目の上段、1、財務諸表作成及び実費精算の経緯ですが、平成25年3月29日の厚生労働省の通知により、新たな財務諸表の様式が示され、また、平成26年10月31日の通知により、毎年度の決算総会終了後、承認を受けました決算書及び実費弁償方式判定結果を所轄の税務署に提出することになりました。

次に、下段の2、実費精算額算出までの流れですが、イメージ図の左側の単式の歳入歳出決算書を基に、中央の収支計算書を作成いたします。実費精算を算出するに当たっては、単式簿記では歳入になる前年度繰越金は含みません。繰り返しになりますが、イメージ図の中央、収支計算書の下段、前期繰越収支差額Bが歳入歳出決算書の前期繰越金になりますので、実費精算の判定においては、当期収支差額Aを基に右側の判定表の下にございます収入に該当しない額、費用に該当しない額や国への返還金など、収支計算書以外で生じる収入及び費用加算額を減算し、実費精算額を算出しております。

2ページをお願いいたします。上段の3、各収益特別会計における差引額（収支差額）ですが、表の項番1、歳入歳出決算書の差引残額は、表に記載の5つの特別会計における

支払勘定を含めました決算残額で、項番 2、収支計算書の最下段、次期繰越収支差額 C と同額になります。

先ほどもご説明いたしました、実費精算を算出するに当たっては、前年度の繰越金を除いた金額を基に算出いたしますので、この次期繰越収支差額から前期繰越収支差額 B を除きました A、当期収支差額を基に厚生労働省が示した判定表を用いて 5 つの収益特別会計において剰余の有無を判定した結果、下段の 4、令和 3 年度実費精算額の表のとおり、5 つの特別会計におきましてマイナス表示となり、剰余が生じず、実費精算額が発生しない結果となりました。このマイナス表示は税法上の実費弁償の判定においては、お戻りする額が生じないというものでございます。

最後に、次の資料 7、令和 3 年度決算一般会計と各特別会計業務勘定の合計でございますが、こちらは参考として表題の各会計勘定の主な歳出項目を集約した資料でございますので、後ほどご覧願います。

以上で議決事項 2 から 11 の説明を終わります。

○議長 事務局の説明が終わりました。ご質疑、ご意見等ございましたらお願いいたします。よろしいでしょうか。

（「なし」の声あり）

それでは、お諮りいたします。ただいま上程いたしました 11 議案を原案どおり決することにご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

ありがとうございます。ご異議ないようでございますので、第 1 号議案から第 11 号議案までは原案どおり決定することといたします。

次に、第 12 号議案「令和 4 年度診療報酬等審査支払特別会計歳入歳出予算補正について」を議題に供します。事務局から説明を願います。

○事務局 議案書 2—1 の 15 ページから 21 ページに歳入歳出予算補正を載せてございますが、本日、これらの内容を集約いたしましたものを資料 8、表題は令和 4 年度歳入歳出予算補正の概要を配布してございます。こちらの資料の説明をもって議案書の説明にいたしたいと存じますので、よろしく願います。

それでは、資料 8 をお願いいたします。予算補正の内容は 2 点ございます。提案の趣旨と併せて説明申し上げます。

1 点目は、国庫補助金の返還でございます。これは昨年度、概算交付された 70 歳から 74

歳の国保前期高齢者に対する医療機関等窓口での1割負担軽減特例措置、いわゆる指定公費負担医療等に対する国庫補助金の精算に伴い、精算額を国庫へ返還するため、予算補正を行うものであります。

2点目は、東京都における高校生等医療費助成事業開始に向けた対応でございます。東京都において、現在、中学生までを対象としている医療費助成に係る補助の対象を高校生等まで拡大する方針が示され、令和5年度からの開始に向けて、東京都から補助金を受け入れ、システム改修を対応するため、予算補正を行うものであります。

2点ともに診療報酬等審査支払特別会計業務勘定の予算補正となります。

下の表をご覧ください。予算補正額をまとめたものでございます。横軸①の国庫補助金の返還では、歳入、6款1項1目繰越金を、歳出では8款2項1目償還金及び還付金をそれぞれ増額し、補正額は650万8,000円となります。

次に、横軸②の高校生等医療費助成事業開始対応では、歳入、4款1項2目電算システム補助金を、歳出では1款3項2目管理費をそれぞれ増額し、補正額は3,630万円となります。

恐れ入りますが、ここでお手元の資料9をご覧ください。こちらは国の通知により国保連合会に対して定められた財務諸表の1つ、収支補正予算書でございます。単式簿記による補正予算を複式簿記に置き換えたものでございます。

表紙をおめくりいただきますと、表の欄外、左上に会計名称を載せてございます。恐れ入ります、4ページ目の診療報酬等審査支払特別会計を御覧願います。表の左から2列目に当初予算額を、その右側1つ飛ばして、補正額（7月）として、ただいま上程しました補正予算をそれぞれ科目ごとに当てはめたものでございます。

恐れ入ります、ページをお戻りいただきまして、1ページ目をご覧ください。こちらには、先ほどの報告事項2、理事の専決処分にて総務部長から説明申し上げました3月に行った一般会計の予算補正を載せてございます。内容につきましては、先ほどと重複いたしますので、説明は割愛させていただきますが、後ほどご覧いただければと存じます。

以上、第12号議案、歳入歳出予算補正の説明を終わります。

○議長 事務局の説明が終わりました。ご質疑、ご意見等ございましたらお願いいたします。よろしいでしょうか。

（「なし」の声あり）

それでは、お諮りいたします。本案件を原案どおり決することにご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

ありがとうございます。それでは、第12号議案は原案どおり決定することといたします。

次に、第13号議案「規約の一部を改正する規約について」を上程いたします。事務局から説明を願います。

○事務局 恐れ入ります、議案書2-1、薄いほうでございます。23ページをお願い申し上げます。第13号議案「本会規約の一部を改正する規約について」でございます。

提案の趣旨です。専門職の廃止に伴い、規約の一部を改正するものです。

審査部門における審査共助のスキル底上げを目標とし、専門職手当を支給している現行の専門職制度を廃止し、今後は審査部門のみならず、システム部門など他の部門においても知識、経験の蓄積に基づいた事務処理が行えると職員本人が申告し、その適正等が認められた者をスペシャリストとして認定し、異動年限にとらわれず、継続してスペシャリスト認定部門に配置するよう制度を再構築する予定です。

新たな制度につきましては改めてお諮りすることとし、今回はまず現行の審査共助に特化した専門職を廃止させていただくものです。

別紙のとおり定めたい。

25ページの新旧対照をご覧ください。上段が改正（案）、下段が現行でございます。規約第33条の2に規定する専門職員を削除するものでございます。

附則です。都知事の認可を受けた日から施行するものでございます。

以上でございます。

○議長 事務局の説明が終わりました。ご質疑、ご意見等ございましたらお願いいたします。よろしいでしょうか。

（「なし」の声あり）

それでは、お諮りいたします。本案件を原案どおり決することにご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

ありがとうございます。それでは、第13号議案は原案どおり決定することといたします。

次に、第14号議案「理事の選任について」を上程いたします。事務局から説明を願います。

○事務局 恐れ入ります、27ページをお願い申し上げます。第14号議案「理事の選任について」でございます。

提案の趣旨です。理事に欠員が生じているため、選任を求めるものでございます。

本会理事でございました前清瀬市長・渋谷金太郎氏が令和4年2月14日に逝去されましたことに伴い、本会理事に欠員が生じております。このため、市町村を代表する理事1名につきまして、本会規約第21条の2の規定に基づき、選任いただきたいというものでございます。

29ページをお願い申し上げます。後任の理事候補者につきましては、本会規約に定める選挙区でございます市町村から武蔵村山市長・山崎泰大氏のご推薦を頂戴しております。

なお、新たにご就任される理事の任期につきましては、本年8月1日から前任者の残任期間でございます令和5年7月31日まででございます。

以上でございます。

○議長 事務局の説明が終わりました。ご質疑、ご意見等ございましたらお願いいたします。よろしいでしょうか。

(「なし」の声あり)

それでは、お諮りいたします。本案件を原案どおり決することにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

ありがとうございます。それでは、第14号議案は原案どおり決定することといたします。

次に、追加議案に移りまして、目次をお開き願います。議決事項は1件でございます。

第15号議案「理事の選任について」を上程いたします。事務局から説明を願います。

○事務局 恐れ入ります、追加議案の31ページをお願い申し上げます。第15号議案「理事の選任について」でございます。

提案の趣旨です。安藤理事長が8月31日をもって退任することに伴い、学識経験者である理事に欠員が生じるため、学識経験者である理事候補者について、本会規約第21条の2の規定に基づき選任を求めるものでございます。

33ページをお願い申し上げます。学識経験者である理事候補者として佐藤広氏、任期につきましては、本年9月1日から前任者の残任期間でございます令和5年7月31日まででございます。

なお、去る21日開催の第1回理事会において、理事候補者である佐藤広氏が本総会で理事に選任された場合には、理事長に選任することとする承認を得ておりますことを報告いたします。

また、佐藤氏の略歴につきましては、35ページに載せてございますので、後ほどご覧いただきたいと存じます。

以上でございます。

○議長 事務局の説明が終わりました。ご質疑、ご意見等ございましたらお願いいたします。よろしいでしょうか。

(「なし」の声あり)

それでは、お諮りいたします。本案件を原案どおり決することにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

ありがとうございます。それでは、第15号議案は原案どおり決定することといたします。

なお、事務局からの説明にもありまして、佐藤広氏におかれましては、理事長としてご尽力いただくこととなりますので、ご承知おきくださいますようお願いいたします。

以上をもちまして本日予定しておりました案件は全て終了いたしました。

ここで、8月31日付で御退任されます安藤理事長からご挨拶をお願いいたします。理事長、お願いいたします。

○理事長 発言の機会をいただきましてありがとうございます。一言御挨拶を申し上げます。

私は、平成30年6月に理事長に就任いたしまして、4年2か月、この運営に携わってまいりました。

就任当時を振り返りますと、都道府県が国保の財政運営の責任主体となる大きな制度改革が実施されまして、本会でも新たなシステムの運用管理業務など、この制度開始に向けて各部署が鋭意取り組んでいたことを覚えてございます。

また、振り返りますと、これまでの間、会員負担金及び手数料等の見直し等や鶴飼理事長にもお力添えをいただきまして、国会議員への税制改正要望など、皆様方からご理解とご協力をいただきながら取り組んでまいった次第でございます。

本会を取り巻く環境、状況は大きく変化しておりますけれども、それらに的確に対応して保険者の皆様を支援していくことが本会の重要な責務でございます。

これから次期国保総合システムの機器更改をはじめ、いろいろと皆様方とご相談しなければならない時期に退任するのは誠に心苦しいところでございますが、幸いにも佐藤新理事長をご選任いただいて、心から安心しているところでございます。

最後に、国保連合会のますますの発展と保険者の皆様方のご健勝、御活躍を心よりお祈り申し上げまして、退任の挨拶とさせていただきます。どうもありがとうございました(拍手)。

○議長 理事長、どうもありがとうございました。

続きまして、9月1日付で理事長にご就任いただきます佐藤広様からご挨拶をお願いいたします。

○新理事長 このたび国保連合会の理事長という大役を仰せつかりました。与えられた職責につきましては、皆様方のご支援、ご協力を賜りながら全力で務めてまいりたいと考えてございます。

理事長が取り組まれましたこと、また、様々な課題についての道筋を間違いなく確実なものにしていきたいと考えております。精いっぱい務めさせていただきます。どうぞよろしくお願い申し上げます（拍手）。

○議長 どうもありがとうございました。

理事長におかれましては、長きにわたりまして理事長としてご尽力いただき本当にありがとうございました。

また、新理事長におかれましてはご活躍をお祈りいたしますとともに、今後ともどうぞよろしく願いいたしたいと存じます。お願いいたします。

閉 会（～午後2時58分）

○議長 皆様方には長時間にわたりましてご審議をいただき、また、議事の円滑な進行にご理解、ご協力を賜りましたことに感謝を申し上げます。これにて総会を終了といたします。ありがとうございました。